



2023年8月25日

「尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生による里海づくり」プロジェクトにおける Jブルークレジットの購入について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男、以下、「当行」）では、尾道市のブルーカーボン・オフセット推進事業「尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり」（以下、「本事業」）において創出されたJブルークレジットを購入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業を通じて、里海的环境保全や水産振興等への貢献を図るとともに、今後とも、地域の脱炭素化の促進および生物多様性・自然資本の保全に向けた取組みを積極的かつ継続的に展開してまいります。

記

1. 実施内容

当行では、本事業において創出され、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合^{*1}により認証されたJブルークレジット^{*2}について、次のとおり購入しました。

プロジェクト名称	尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり ^{*3}
プロジェクト種類	自然系炭素除去
プロジェクト実施者	尾道市、浦島漁業協同組合
プロジェクト実施地	尾道市沿岸の4つの造成干潟（高尾干潟、海老干潟、灘干潟、百島干潟）
発行クレジット量	130.7[t-CO ₂]
うち、当行購入量	13.4[t-CO ₂]

Jブルークレジット購入証書
Certificate of J-Blue Credit Purchase

株式会社広島銀行 発
The Hiroshima Bank Ltd.

以下のとおり、クレジットを購入したことを証明します。
This is to certify that you purchased the following credits.

Jブルークレジット購入量
Amount of J-Blue Credits purchased
10.0 t-CO₂

プロジェクトの名称: 尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生による里海づくり
Project Name: Creating nature by restoration of the beds of the sea tidal flats and seagrass meadows in Onomichi

クレジットの種類: 自然系炭素除去
Credit Type: Nature-based carbon removal

クレジット発行番号: 202211BC700020-00020 ~ 202211BC700020-00027
Credit Issue Number

クレジット購入数量: 10.0 t-CO₂
Credit Purchase Quantity

クレジット購入発日: 令和5年 7月14日
Credit Purchase Date

創出者によるJブルークレジット創出に関する取組について特記事項
Additional information on the credit creation by the credit creator

このプロジェクトは、尾道市において造成干潟(干潟)による生態系が回復し、藻場によるバイオ炭素蓄積が促進されることにより、藻場による炭素蓄積が促進されることにより、自然系炭素除去が実現され、その結果として、Jブルークレジットが創出された。このプロジェクトは、尾道市において造成干潟(干潟)による生態系が回復し、藻場によるバイオ炭素蓄積が促進されることにより、藻場による炭素蓄積が促進されることにより、自然系炭素除去が実現され、その結果として、Jブルークレジットが創出された。

The implementation of this project has allowed the massive value of food supply (an annual increase of 10 tons of short-rooted oysters and 1 tons of high-quality production due to the increased tidal flats) and water purification (an annual increase of 10 tons of chemical oxygen demand (COD) removal) to be supported by the tidal flats and seagrass beds. The carbon value of these contributions was estimated to be approximately 100 million yen per year. By purchasing the credits generated in this certificate, the buyer will be recognized as being contributed to 10% of the amount of multiple environmental issues (see footnote).

国土交通大臣官庁
国土交通省
Japan Blue Economy Association
JBE

Jブルークレジット購入証書
Certificate of J-Blue Credit Purchase

株式会社広島銀行 発
The Hiroshima Bank Ltd.

以下のとおり、クレジットを購入したことを証明します。
This is to certify that you purchased the following credits.

Jブルークレジット購入量
Amount of J-Blue Credits purchased
3.4 t-CO₂

プロジェクトの名称: 尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生による里海づくり
Project Name: Creating nature by restoration of the beds of the sea tidal flats and seagrass meadows in Onomichi

クレジットの種類: 自然系炭素除去
Credit Type: Nature-based carbon removal

クレジット発行番号: 202211BC700020-00241 ~ 202211BC700020-00274
Credit Issue Number

クレジット購入数量: 3.4 t-CO₂
Credit Purchase Quantity

クレジット購入発日: 令和5年 7月14日
Credit Purchase Date

創出者によるJブルークレジット創出に関する取組について特記事項
Additional information on the credit creation by the credit creator

このプロジェクトは、尾道市において造成干潟(干潟)による生態系が回復し、藻場によるバイオ炭素蓄積が促進されることにより、藻場による炭素蓄積が促進されることにより、自然系炭素除去が実現され、その結果として、Jブルークレジットが創出された。このプロジェクトは、尾道市において造成干潟(干潟)による生態系が回復し、藻場によるバイオ炭素蓄積が促進されることにより、藻場による炭素蓄積が促進されることにより、自然系炭素除去が実現され、その結果として、Jブルークレジットが創出された。

The implementation of this project has allowed the massive value of food supply (an annual increase of 10 tons of short-rooted oysters and 1 tons of high-quality production due to the increased tidal flats) and water purification (the annual increase of 10 tons of chemical oxygen demand (COD) removal) to be supported by the tidal flats and seagrass beds. The carbon value of these contributions was estimated to be approximately 100 million yen per year. By purchasing the credits generated in this certificate, the buyer will be recognized as being contributed to 3.4% of the amount of multiple environmental issues (see footnote).

国土交通大臣官庁
国土交通省
Japan Blue Economy Association
JBE

2. 実施目的

〈ひろぎんグループ〉の「環境方針」^{※4}および「SDGs 宣言」^{※5}に沿って、地域社会の一員として、瀬戸内海をはじめとする郷土の豊かな自然環境を守り、将来の世代に、より良く引き継いでいくための取組みの促進を図るため。

本事業の実施による、造成干潟における食料供給（干潟によるアサリの生産量が年間10トン増加、藻場によるメバルの生産量が年間7トン増加）と水質浄化（干潟・藻場の生物によるCOD浄化量が年間74トン増加）の経済価値の推計は、併せて年間1.4億円程度の価値があると評価されています。

また、当行は、本クレジットの購入を通じ、これら複数の環境価値の増加（コベネフィット）のうち、10.2%について貢献したものと評価されています。

3. 今後の対応方針（予定）

当行が購入したクレジットは、今後、当行の事業活動に伴う温室効果ガス排出量とのオフセット^{※6}に活用する予定です。

また、里海の干潟・藻場の保全・再生活動や環境学習の実施をはじめとした、本事業に関連する今後の取組みについても、積極的かつ継続的な関与・貢献を図ってまいります。

4. その他

本件に伴い、8月25日に尾道市役所内にて開催予定の「第1回尾道市Jブルークレジット意見交換会」へ参加する予定です。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社広島銀行
総合企画部 企画室
TEL (082) 247-5151 (代表)

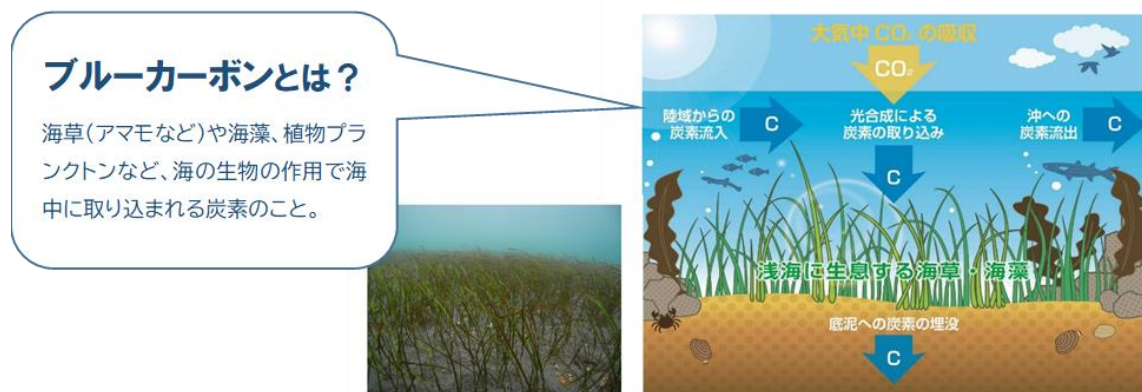
【参考】用語集

※1 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（以下、JBE）

ブルーエコノミー事業（海洋資源の持続可能な利用を通じて経済成長の実現を図る活動）の活性化を図ることを目的とした技術の研究開発を、異なる分野と立場の研究者、技術者、実務家らが密に連携して実施するために設立された技術研究組合（国土交通大臣の認可法人）のこと。

※2 Jブルークレジット

海草（アマモなど）や海藻、植物プランクトンなど、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素である「ブルーカーボン」を対象とした、JBE から独立した第三者委員会による審査・認証意見を経て、JBEが発行し、管理する独自クレジットのこと。



(出典：尾道市資料)

※3 「尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり」プロジェクトの概要

国土交通省中国地方整備局が造成した干潟（高尾、海老、灘、百島）を浦島漁業協同組合が適切な維持管理を行うことで、藻場の再生や生態系の回復を目指し、それによって得られるブルーカーボン効果をクレジット化し、販売することで、利益をアマモの移植活動など干潟・藻場の保全・再生活動やそれに向けた各種調査、普及啓発のための環境学習や講演会等の実施に充てていく取り組み。

なお、詳細については、尾道市のホームページをご参照ください。

※4 〈ひろぎんグループ〉の「環境方針」

詳細については、株式会社ひろぎんホールディングスのホームページをご参照ください。

(URL <https://www.hirogin-hd.co.jp/csr/environmental-initiative/environmental-policy/index.html>)

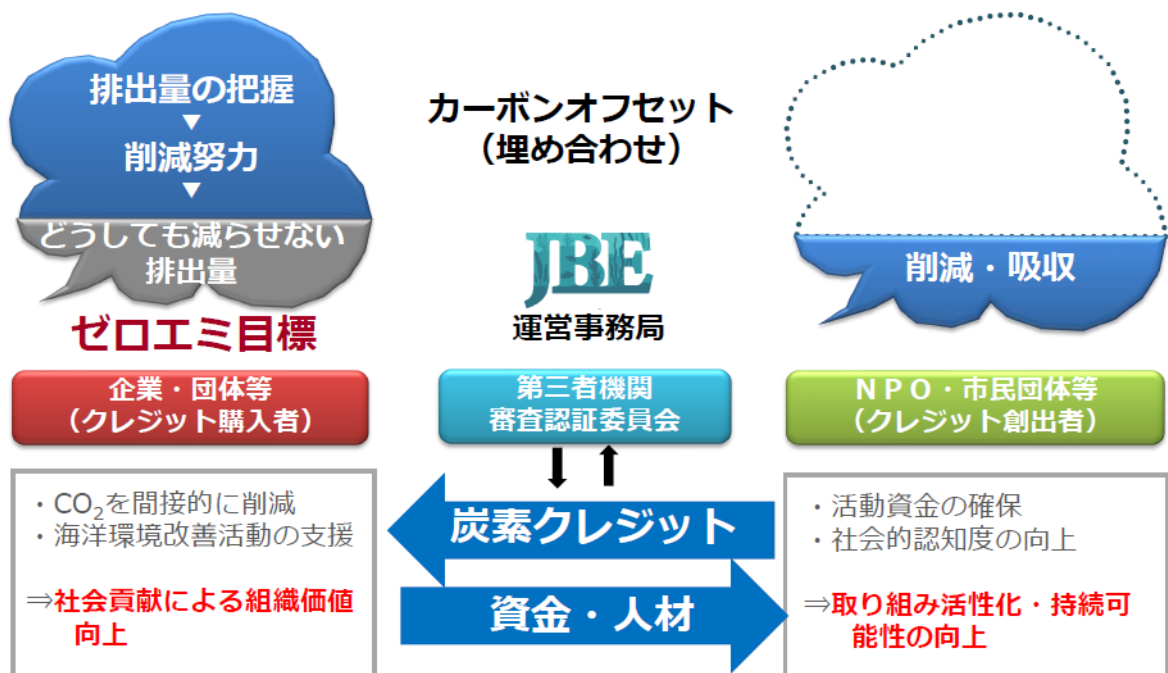
※5 〈ひろぎんグループ〉の「SDGs宣言」

詳細については、株式会社ひろぎんホールディングスのホームページをご参照ください。

(URL <https://www.hirogin-hd.co.jp/csr/sdgs/declaration/index.html>)

※6 カーボンオフセット

経済活動等において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方のこと。



(出典：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 (JBE) 資料)